

令和 2 (2020)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	観測ロケットを用いた極超音速フライトテストベッドの構築と機体推進統合制御の実証
研究代表者	佐藤 哲也 (早稲田大学・理工学術院・教授) ※令和 2 (2020)年 9 月末現在
研究期間	令和 2 (2020)年度～令和 6 (2024)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>【課題の概要】</p> <p>本研究では、極超音速飛行環境下での機体／推進統合技術の構築、我が国独自の飛行試験インフラの開発、最終的に極超音速環境下で飛行実証することを目指したものである。</p> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】</p> <p>研究代表者の実績等から、欧米に比べて本研究のターボジェットエンジンには優位性がある。また、JAXA で採択された観測ロケット実験と連動した計画であり実現性も認められる。計画している実飛行試験は一回だけなので、実飛行試験よりどのくらいの研究成果が見込めるか不確定な部分はあるが、成功した際の波及効果が期待できる。</p>